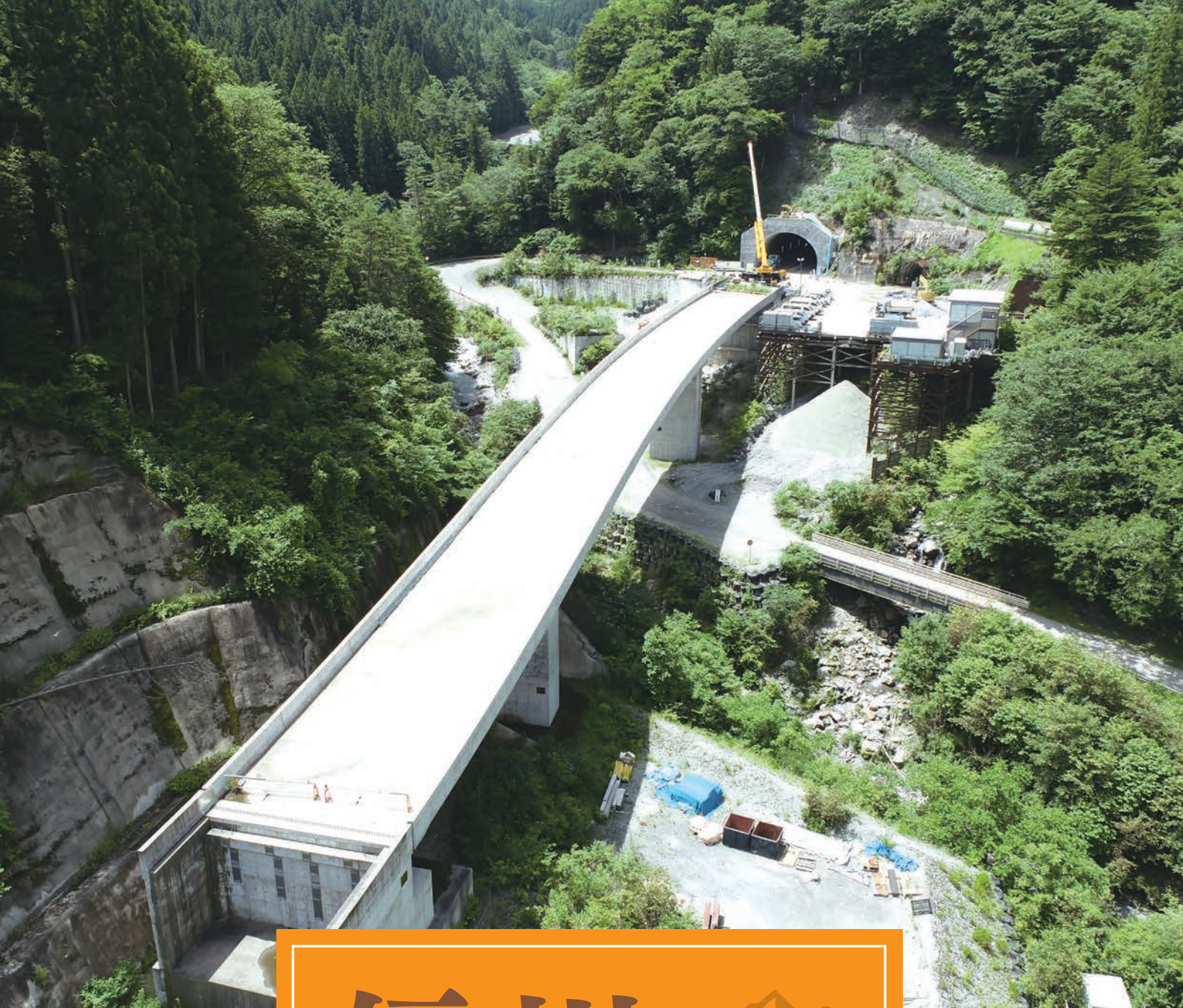




三遠南信自動車道
(青崩峠トンネル(仮称)
長野県側坑口)

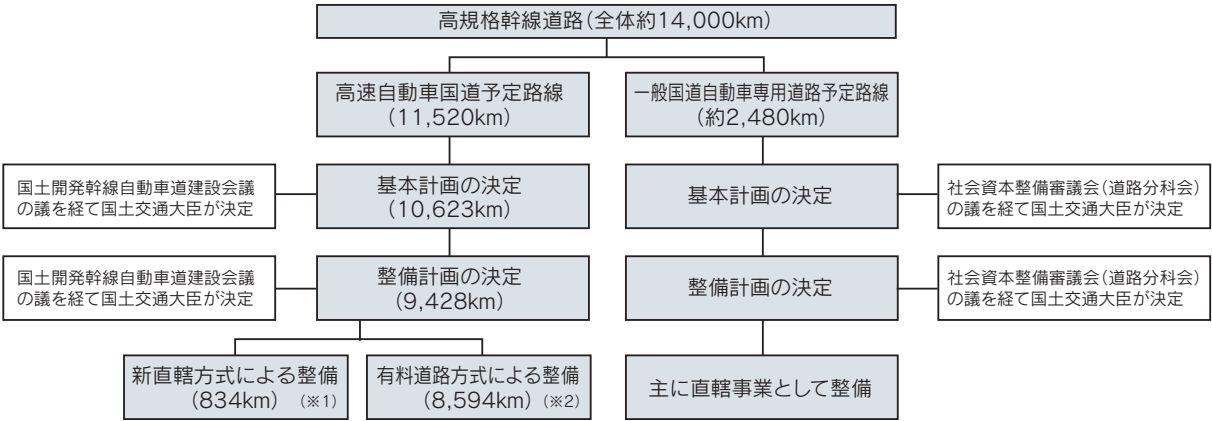
信州の 高規格道路

連携を深める交通ネットワーク

長野県建設部

■高規格幹線道路網の整備体系

高規格幹線道路網は、国土の骨格となる基幹的な高速陸上交通網を形成するもので、高速自動車国道と一般国道の自動車専用道路で構成されています。

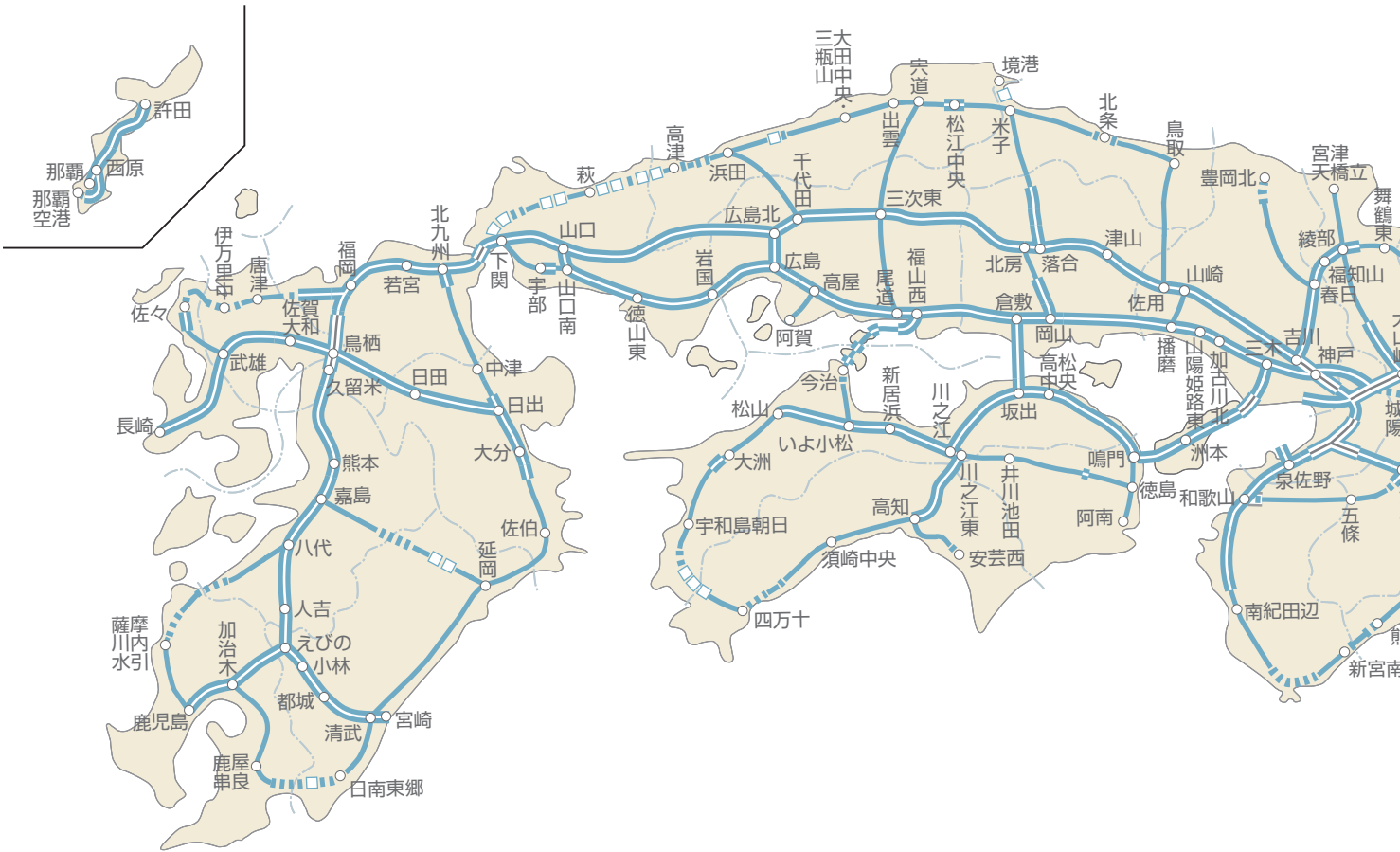


※1 「新直轄方式」:国土交通省が整備(国費及び地元負担金により建設に伴う経費を負担)
※2 「有料道路方式」:高速道路株式会社が整備(通行料により建設に伴う経費を返済)

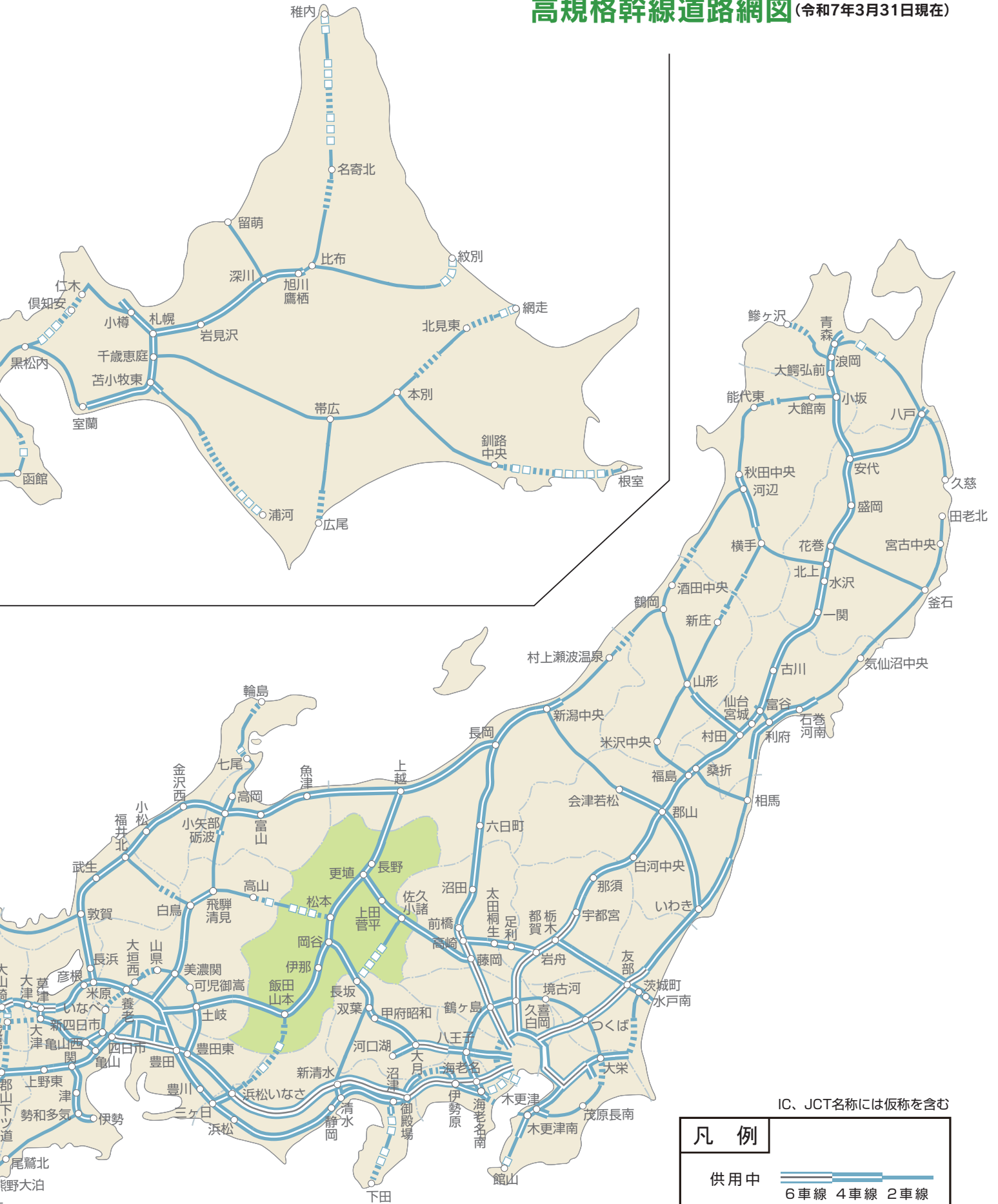
令和7年3月31日現在

高規格幹線道路			総延長(km)	供用長(km)	供用率(%)
全国	高速自動車国道		11,520	(1,116) 9,219	(90) 80
	一般国道自動車専用道路		2,480	2,011	81
	全国総計		14,000	12,346	88
長野県内	高速自動車国道	中央自動車道	122.1	122.1	100
		長野自動車道	75.8	75.8	100
		上信越自動車道	111.4	111.4	100
		中部横断自動車道	45	22.4	50
		合計	354	331.7	94
	一般国道自動車専用国道	中部縦貫自動車道	35	2.3	7
		三遠南信自動車道	50	19.4	39
		合計	85	21.7	26
	県内総計		439	353.4	81

※()内は高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路で外書き。

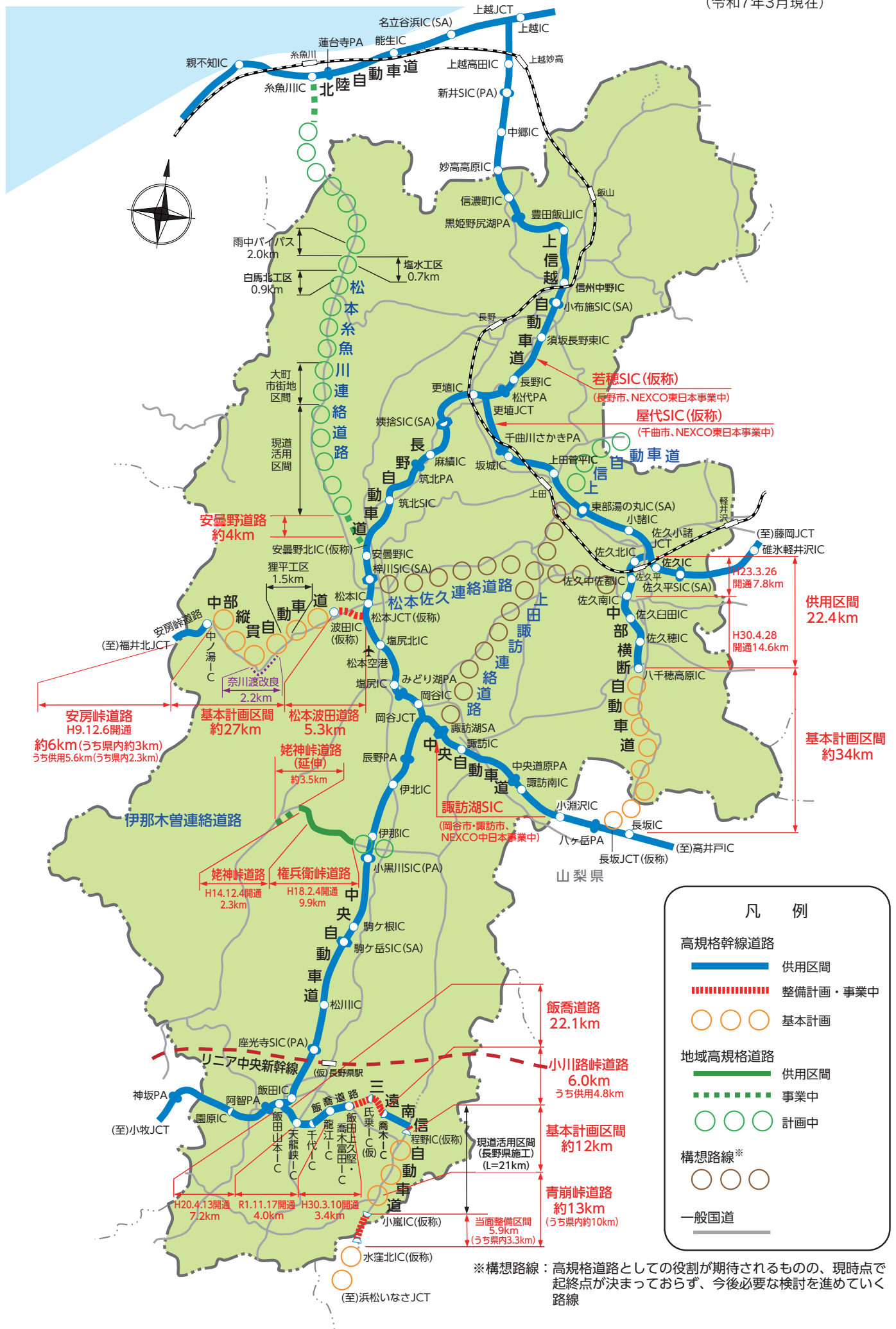


高規格幹線道路網図 (令和7年3月31日現在)



高規格道路の状況について

(令和7年3月現在)



整備済の路線

県内では、中央自動車道、長野自動車道、上信越自動車道が全線供用され、多くの分野にストック効果をもたらしており、県民生活に不可欠な社会インフラとなっています。

E18 上信越自動車道

上信越自動車道は、関越自動車道藤岡 JCTと北陸自動車道上越 JCT を連絡する延長約203 km(うち県内約111 km)の高速自動車国道として、平成11年度に全線開通しました。

この自動車道は、関越・中央・長野・北陸・中部横断自動車道と連絡して高速交通ネットワークを形成するとともに、首都圏と上信越地方を結ぶ動脈として沿線地域の産業、経済、文化、観光の発展や、災害時の代替性確保を図るうえで大きな役割を担っています。

信濃町 IC から上越 JCT 間で進められてきた4車線化事業が、令和元年12月に完了し全線4車線となりました。

IC名	妙高高原IC	信濃町IC	豊田飯山IC	信州中野IC	小布施SIC	須坂長野東IC	長野IC	更埴JCT	坂城IC	上田菅平IC	東部湯の丸IC	小諸IC	佐久小諸JCT	佐久IC	佐久平SIC	碓井軽井沢IC
区間距離	5.1	13.2	7.7	4.7	6.8	9.9	6.0	14.1	7.9	8.3	6.5	9.3	1.5	3.0	15.8	
区間供用	H9.10.16			H7.11.30			H5.3.25			H8.11.14			H7.11.7		H5.3.27	



新潟県境の「れいめい橋」

E19 長野自動車道

長野自動車道は、岡谷 JCT と更埴 JCT を繋ぐ延長約76 kmの高速自動車国道です。中央自動車道と上信越自動車道を相互に連絡して高速交通ネットワークを形成し、太平洋や日本海沿岸地域を繋ぐ動脈として、沿線地域の産業、経済、文化、観光の発展や、災害時の代替性確保を図るうえで大きな役割を担っています。

IC名	更埴JCT	更埴IC	姨捨SIC	麻績IC	筑北SIC	安曇野IC	梓川SIC	松本IC	塩尻北IC	塩尻IC	岡谷IC	岡谷JCT
区間距離	0.9	11.5	7.1	9.0	14.2	上り4.4 下り3.2	上り2.9 下り4.1	8.2	6.7	7.2	3.7	
区間供用	H5.3.25					S63.8.3			S63.3.5		S61.3.25	



姨捨SA(下り)から善光寺平を望む

E19 E20 中央自動車道

中央自動車道は東京都と愛知県小牧市を結ぶ、延長約367 km(うち県内約122 km)の高速自動車国道です。

首都圏と中京圏を繋ぐ大動脈であり、長野自動車道とともに、日本海岸地域を含む広域交通ネットワークを形成し、物流確保や広域観光の開発等、産業経済の振興や災害時の代替性確保において重要な役割を担っています。

IC名	中津川IC	園原IC	飯田山本IC	飯田IC	座光寺SIC	松川IC	駒ヶ岳SIC	駒ヶ根IC	小黒川SIC	伊那IC	伊北IC	岡谷JCT	諏訪IC	諏訪南IC	小淵沢IC
区間距離	22.0	9.6	5.2	6.9	8.6	12.0	3.3	12.2	2.9	9.6	13.9	10.2	11.1	12.4	
区間供用	S50.8.23							S51.9.18				S56.3.30			



諏訪IC付近から八ヶ岳方面を望む

事業中・調査中の路線

高規格幹線道路による広域ネットワークの構築に向け、供用中の路線に加え県内では、中部横断自動車道、三遠南信自動車道、中部縦貫自動車道の調査・建設が国土交通省により進められています。

E52 中部横断自動車道

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点として、山梨県甲斐市を經由し小諸市に至る延長約140km(うち県内約50km)の高速自動車国道として整備が進められています。

新東名高速道路、中央自動車道及び上信越自動車道を相互に連絡して高速交通ネットワークを形成し、太平洋や日本海の臨海地域を含む沿線地域間の連携・交流の促進、広域観光圏の形成による観光振興や、災害時の代替性確保などへの効果が期待されています。

IC名	新清水JCT	富沢IC	南部IC	身延山IC	下部湯室IC	中富IC	六郷IC	増穂IC	南ルースIC	白根IC	双葉JCT	(長坂)JCT	八穂高原IC	佐久穂IC	佐久田IC	佐久南IC	佐久中佐都IC	佐久北IC	佐久小諸JCT
区間距離(km)	20.7	6.7	13.2	8.4	9.3	6.2	3.0	6.8	中央道と重用	約40	14.6	7.8							
基本計画			H3.12				H元.2								H3.12				
整備計画			H8.12				H3.12								H10.12			H8.12	
施工命令	H10.12		※			H10.12	H5.11								※				
区間供用	H31.3	R元.11	R3.8	H31.3	H29.3	H18.12	H16.3	H14.3						H30.4			H23.3		

※道路関係四公団民営化に伴い新直轄方式に切り替えられた区間



八千穂高原IC付近

E67 中部縦貫自動車道

中部縦貫自動車道は、松本市を起点として、岐阜県高山市を經由し福井県福井市に至る延長約160km(うち県内約35km)の一般国道自動車専用道路(国道158号)として整備が進められています。

長野自動車道、東海北陸自動車道及び北陸自動車道を相互に連絡して高速交通ネットワークを形成し、広域観光圏の形成による観光振興や、物流確保、災害時の代替性確保などへの効果が期待されています。

IC名	福井北JCT	松岡IC	寺寺道IC	永平寺IC	上志比IC	勝山IC	大野IC	荒島IC	九頭竜IC	(油坂出口)	白鳥西IC	白鳥JCT	飛騨見JCT	高山西IC	高山IC	(丹生川)IC	(久手)IC	平湯IC	(中ノ湯)IC	(波田)IC	(松本)JCT
区間距離(km)	2.2	1.8	1.4	5.3	7.9	7.8	5.5	14.0	15.5	8.2	3.1	東海北陸道と重用	8.7	6.5	9.5	約17	5.6	5.6	約27	5.3	
事業名	永平寺大野道路				大野油坂道路				油坂峠道路				高山清見道路				高山東道路				松本波田道路
基本計画	H2.11			H元.8			H9.2			H元.8				H元.8	H9.2	H元.8	H9.2	H元.8	H9.2	H3.12	
整備計画	H5.7			H2.11			H27.4	H21.3	H24.4	H元.8	H2.11			H5.7	調査中	R6.3	H元.8	調査中	H12.4		
区間供用	H27.3	H5.6	H19.3	H29.7	H21.3	H25.3	R5.3	R5.10	事業中	H11.4	H11.1		H16.11	H19.9	事業中		事業中	H9.12		事業中	



新村高架橋(工事中)

E69 三遠南信自動車道

三遠南信自動車道は、飯田市を起点として、愛知県東部を經由し静岡県浜松市に至る延長約100km(うち県内約50km)の一般国道自動車専用道路(国道474号)として整備が進められています。

中央自動車道、新東名高速道路を相互に連絡して高速交通ネットワークを形成し、南信州と東三河・遠州地域の結びつきをさらに深め、産業、観光の振興や災害時の代替性確保などへの効果が期待されています。

IC名	飯田山本IC	天龍峡IC	千代IC	龍江IC	高木富田IC	飯田上久堅IC	(氏乗)IC	喬木IC	(程野)IC	(小嵐)IC	(水窪北)IC	(水窪)IC	佐久間IC	安岡川合IC	浦川IC	東栄IC	鳳来峡IC	浜松寺野IC	浜松安永IC	JCTいなさ
区間距離(km)	7.2	4.0	3.4	7.5	6.0	約21	5.9	約7	14.0	6.9	7.1	13.4	0.5							
事業名	飯高道路				小川路幹線道路				青崩峠道路				佐久間道路・三遠道路							
基本計画			H2.11				H元.8	H9.2	H元.8	H5.7						H3.12				
整備計画			H9.2				H元.8	調査中	H元.8	調査中	H31.3					H12.4				
区間供用	H20.4	R元.11	H30.3	事業中	H6.3		事業中		事業中		事業中	H31.3	事業中	H24.3	H24.4					



青崩峠トンネル(仮称)工事完成式

松本糸魚川連絡道路

松本糸魚川連絡道路は、松本市から新潟県糸魚川市に至る延長約100km（うち県内約80km）の地域高規格道路です。

長野自動車道や北陸自動車道と一体となって広域的な道路ネットワークを形成し、産業の活性化や災害時の道路の信頼性向上に寄与するものと期待されます。平成20年度に県内全線の整備方針をまとめ、各種調査や概略ルートを検討を進めています。

安曇野市新設区間である「安曇野道路」は、令和4年度に事業化し、調査・設計を進めています。

また、大町市街地区間では令和5年度に最適ルート帯を決定しました。



安曇野道路完成イメージ図(三川合流部付近)

伊那木曽連絡道路

伊那木曽連絡道路は、伊那市から木曽町に至る延長約20kmの地域高規格道路です。平成17年度までに権兵衛峠道路と姥神峠道路の一部が開通し、これまで伊那地域から木曽地域まで約90分要していた時間が約45分以内に大きく短縮されました。国道19号の迂回路として大きな役割を果たしているほか、交流の拡大により両地域の産業発展に大きく寄与しています。

姥神峠道路（延伸）区間について令和3年度に事業化し、整備を進めています。



姥神峠道路(延伸)区間イメージ図

上信自動車道

上信自動車道は、群馬県渋川市から長野県東御市に至る延長約80km（うち県内約15km）の地域高規格道路です。関越自動車道や上信越自動車道と一体となって広域的な道路ネットワークを形成し、群馬・長野両地域の交流促進が図られ、地域活性化が期待されます。群馬県内では整備が順次進んでおり、県境部については概略ルートの検討を進めています。



県境部(鳥居峠)を望む

スマートインターチェンジ

既存の高速道路の有効活用や、地域生活の利便性向上、地域経済の活性化を推進するため、低コストで建設・管理が可能なスマートICを、県内では市町村が主体となって整備を進めています。

長野県内では、佐久平、小布施、小黒川、駒ヶ岳、座光寺、梓川、筑北、姨捨の計8箇所が供用しています。
また、諏訪湖、(仮称)若穂、(仮称)屋代の3箇所において事業が進められています。

事業中の箇所				
道路名	スマートIC名	連結位置	実施主体	事業着手年度
中央自動車道	諏訪湖	諏訪市、岡谷市(諏訪湖SA)	岡谷市・諏訪市、NEXCO中日本	令和元年度
上信越自動車道	(仮称) 若 穂	長野市(本線直結)	長野市、NEXCO東日本	令和2年度
	(仮称) 屋 代	千曲市(本線直結)	千曲市、NEXCO東日本	令和5年度

供用中の箇所				
道路名	スマートIC名	連結位置	実施主体	供用年月日
上信越自動車道	佐久平	佐久市(佐久平PA)	佐久市、NEXCO東日本	H19.4.1
	小布施	小布施町(小布施PA)	小布施町、NEXCO東日本	H18.10.1
中央自動車道	小黒川	伊那市(小黒川PA)	伊那市、NEXCO中日本	H29.9.30
	駒ヶ岳	駒ヶ根市(駒ヶ岳SA)	駒ヶ根市、NEXCO中日本	H30.3.17
	座光寺	飯田市(座光寺PA)	飯田市、NEXCO中日本	R3.3.28
長野自動車道	梓 川	安曇野市、松本市(梓川SA)	安曇野市、松本市、NEXCO中日本	H22.11.27
	筑 北	筑北村(本線直結)	筑北村、NEXCO東日本	R5.12.17
	姨 捨	千曲市(姨捨SA)	千曲市、NEXCO東日本	H18.10.1



諏訪湖SIC工事中(諏訪市・岡谷市 中央自動車道)

■編集・発行

長野県建設部 道路建設課

〒380-8570 長野県長野市南長野幅下 692-2

電話 026-232-0111 (内線 3415) 026-235-7305(直通)

FAX 026-235-7391

Mail michiken@pref.nagano.lg.jp



令和7年(2025年)3月発行